

三月例会 御案内

(平成二十九年・通算第六七二回)

公益財団法人 協和協会

○御案内

三月二十九日(水) 正午～午後二時半

参議院議員会館 一階・一〇二会議室

議題 サイバー攻撃の恐怖——国家・企業・あなたの銀行口座も!

講師 北島 圭先生(サイバー攻撃対策の専門家)

わが国が、インターネット・パソコンの社会へ突入してから、当初は、大層便利な社会になった、と感動したものでしたが、近年特に、その便利さを悪用して、国家・軍・社会・大手企業の諸情報を、秘かに盗み出し、相手を攻撃したり、その機密を奪う手口がはやっており、まさに、油断できない社会になってきております。

それは、アメリカ、ロシア、中国などのIT先進国の間でも、互いに相手国のサイバー攻撃を非難し合っていることから、国家的関与が予想され、しかし、なかなかその証拠が掴めないのが厄介です。大手企業や研究機関、大学・大学院でも、その対策に追われております。

しかも、それは、国家間や大企業間ばかりではなく、いまや、一般国民・市民でも、いつの間にか、銀行預金口座やクレジットカードから、多額の現金が引き出されていたという話が聞かれる事態になっております。そこで、今回は、この方面の専門家である北島圭先生から、年輩者にも、分かりやすく、その被害状況を含め、御説明・解説をいただきます。奮っての御参加を!

(清原記)

□ 当日会費 会員四千元、非会員五千元 ▽三月二十八日(火) までに欠の御連絡賜りたく!

公益財団法人 協和協会

当日連絡先

080-8836-6203 重田

080-9292-2620 高津

三月二十九日(水)の月例会に

<http://www.kyowakyokai.or.jp>
(通話のみ)

出席 欠席 (いずれかに〇印を)

電話 03-3581-1192

FAX 03-3507-8587

御芳名

貴方様のFAX

メール

○御報告

去る二月十七日の月例会は、『日本人に合う健康長寿の食生活とは?』と題して、奥田昌子・医学博士に御講話いただきました。それはいま、世界有数の高齢社会となった日本では、テレビ・新聞・雑誌に、健康食品や健康法のノウハウ広告が溢れ、国民は、どれももともとと思われ、あれもこれもと迷っているのが現状です。これに対して、長年の臨床実験、産業医検診での蓄積、海外のデータの収集により、奥田先生は、人間の体質は、人種・民族・長年の生活環境により異なることを論証され、したがって、海外の食生活を取り入れても、むしろ害がある、と主張されています。

この日も、奥田先生は、いま世間でよく言われている次の三例、①骨を強くするため、牛乳や乳製品を摂るといい、②認知症の予防には、血管を強くするために肉を食べるといい、③糖尿病予防やダイエットには糖質制限が有効だが、の三例を挙げ、出席者一同に語りました。参加者からそれぞれに正解とする声が上がりましたが、奥田昌子医師の答えは、三例ともバツでした。そして、奥田先生は、島国育ちの日本人古来の体質について解説され、食生活もそれを基本とすべきである。アメリカでは、多民族構成国家なので、病気のときに、その人種・民族ごとに、診る医師が異なる、といった御説明もあり、大層、参考になりました。これで、テレビ・新聞・雑誌に氾濫する健康食品や健康法ノウハウに迷わされずにすむ、と安心できました。また、奥田先生は、参加者全員から個別的相談にも応じて下さり、一同、感謝の拍手で終わりました。(清原記)

▽当「公益財団法人 協和協会」とは、

昭和四十九年、岸信介元総理によって創立された財団。活動趣旨は、「党派・打算を超えて、真に国家的課題を調査研究し、特に重要課題は、政府宛要請書を作って、時の政府へ提出することにある、昭和五十四年から本格活動に入り、月例講話会のはかに、八つの部会と、五〇六の委員会があり、これまでに百三十七本の要請書を、時の政府へ提出している。

第二代会長は、福田赳夫元総理、第三代会長は、桜内義雄元衆議院議長、第四代会長は、塩川正一郎元財務大臣、第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員、現在、第六代会長代行として、岸信夫衆議院議員が就任している。理事長は、平成十四年から半田晴久が就任しております。

▽事務局電話(03) 3581-1192

代表理事兼専務理事・清原淳平、総務 重田、高津